



守屋京子社長

## 水で沸騰加熱 「モーリアンヒート パック」

●会社プロフィール

〔社長名〕 守屋京子

〔電話番号〕 04・29665・4221

〔従業員数〕 7人

〔設立〕 1970年(昭45) 3月

当社は東京・赤羽で固有の技

術を持つ企業が集まって「東京  
機工協同組合事業部」としてス  
タートしました。1966年の  
発足当初は金型や材料、加工組  
み立てなどの機械金属加工業と  
して、いわゆる大手企業の下請  
けとして出発いたしました。

4年後には時代の流れに沿っ  
て組合組織から株式会社に移  
行。社名を「協同機工株式会社」  
とし、さらに1985年に現社  
名に変更致しました。

その後、時代の変革に伴い、  
大手企業が下請け企業に委託し  
ていた仕事を海外生産に移行し  
たり、あるいは、無謀なコスト  
ダウンの要請等々が重なったり  
したことで、下請け企業のつら

さを味わいました。

そこで発明好きでアイデアマ  
ンである創業者で現会長の守屋  
勇治は、「いつまでも大手の下  
請けの仕事ではこの先、当社の  
ような中小企業は生き延びてい  
くことが難しい」と考えました。

他社と差別化した技術を開発  
し、独自の商品を世の中の皆さ  
まにご提供して、社会の皆さま  
のお役にたきたいという思い  
から、新事業へのシフトを決意  
致しました。

守屋が重度のぜんそくを患  
い、転地療養が必要になったた  
め、15年前の1998年に赤羽  
から、空気の良い埼玉県入間市  
へ引っ越し、同時に新規事業を  
立ち上げました。2001年に

「モーリアンヒートパック」を

商品化しました。これはアルミ  
ニウム粉末などを利用した発熱  
剤で、水をかけることによる化  
学反応で瞬時に発熱。約98℃の  
高温蒸気を約20分間発生させ、  
食材加熱を行います。

阪神淡路大震災の時に「災害  
時にライフラインが止まった時  
に、火や電気が無くても水を注  
ぐだけで高温の蒸気で短時間で  
飲食物を加熱調理できる発熱  
剤」の開発を目指し、着手した  
ものです。2003年に世界特  
許取得となりました。

アルミニウムを主原料とした  
発熱剤は、当社が開発した製品  
しかありません。画期的な商品  
であり、自衛隊・防災備蓄・ア

ウトドアー・ホテル旅館・飲食  
店などの食品温め用途として、  
高い評価を頂いております。

2011年の東日本大震災や  
東京電力福島第一原子力発電所  
の事故の際には、被災者の皆さ  
まや自衛隊員の救助活動に、原  
子力発電の復旧活動に当たられ  
る皆さまの食料を温める燃料と  
して、大変に喜ばれ、お役に立  
つことができました。

微力ながらも、この仕事を通  
じて、地域住民の皆さまや多く  
の皆さまのお役に立てるような  
良い働きができればと念じてお  
ります。



展示ルーム風景